

■清流の国ぎふ森林・環境税を活用した事業(森林・環境基金事業) 進捗管理表(H24.5末現在)

資料 1

事業名	事業概要	5年間の事業量	平成24年度当初計画					H24.5末時点の事業進捗状況			
			事業主体	補助率	補助金限度額	計画事業量	①予算額 (千円)	②5月末時点 の配分判明額 (千円)	③残額 (①-②) (千円)	当初計画 達成見込	特記事項
(1)環境保全林整備事業	・水源林、溪畔林、奥山林等の間伐の助成	15,000ha	市町村 林業事業体等	10/10	200千円/ha	2,200ha	358,000	339,653	18,347	○	・事業要望に応じ、市町村毎の予算配分額を決定(4月末)。 ・順次、農林事務所を通して事業者から提出された事業計画の審査を行い、農林事務所に対しての事業決定を行っている。
(2)水源林公有林化支援事業	・森林の公有地化の助成	150ha	市町村	—	—	20ha	10,000	0	10,000	○	・6月15日まで事業募集。
(3)里山林整備事業	・里山林の整備の助成	2,000ha	市町村 各種団体	10/10	内容による	280ha	58,000	52,500	5,500	○	・事業要望に応じ、市町村毎の予算配分額を決定(4月末)。 ・順次、農林事務所を通して事業者から提出された事業計画の審査を行い、農林事務所に対しての事業決定を行っている。
(4)環境保全モデル林整備事業	・環境モデル林の指定と計画策定	5箇所	県	—	—	1箇所	3,800	0	3,800	○	・モデル林の募集に、4市町(4箇所)から応募あり。 ・6月中にモデル林を決定、7月にプレーヤー募集。 ・8月～10月に計画策定委員会開催、11月にモデル林活用計画発表。
(5)流域清掃活動推進事業	・流域協働による河川清掃の助成	5流域	NPO 行政等	10/10	1,000千円/流域	2流域	2,300	0	2,300	○	・長良川と揖斐川の2流域について、NPO等関係機関で打合せを実施(H24.5)
	・流域協働による河川清掃の実施	5流域	県	—	—	2流域	25,000	0	25,000	○	・清流の国ぎふづくり推進課等関係機関と打合せを実施。 ・今後、流域ごとに詳細計画を作成する計画。
(6)イタセンパラ域外保全推進事業	・イタセンパラ(国内希少野生動物種)の域外保全	1箇所	県	—	—	1箇所	15,700	0	15,700	○	・4月12日に県イタセンパラ生育域外保全技術検討会を開催し、事業計画及び新設する野外池の設計等について技術的指導を受ける。 ・野外池の測量・設計を7月末までに終え、12月までの完成を目指す。
(7)野生生物保護管理事業	・個体数調整のためのニホンジカの捕獲補助	別途計画による	市町村	定額	内容による	別途計画による	11,250	0	11,250	○	・8月上旬までに関係計画(特定鳥獣保護管理計画)を改定予定。 ・その後、要望調査の上で内示予定。
	・アライグマ、ヌートリアの捕獲オリ・処理設備購入補助	捕獲オリ 500基 処理設備 50基	市町村	1/2	捕獲オリ13千円 処理設備50千円	捕獲オリ 100基 処理設備 10基	1,800	346	1,454	○	・要望調査に基づいて補助金額を内示。該当市町村へ5月末を期限に申請書の提出を依頼し、申請のあった市町村から順次交付決定通知中。 ・内示した市町村からの申請が完了次第、2次募集予定。
	・有害鳥獣対策等に従事する市町村職員の育成	25人	市町村	10/10	500千円/人	5人	2,500	500	2,000	○	・要望調査に基づいて補助金額を内示。該当市町村へ5月末を期限に申請書の提出を依頼し、申請のあった市町村から順次交付決定通知中。 ・内示した市町村からの申請が完了次第、2次募集予定。
(8)野生動物総合対策推進事業	・鳥獣対策に関する調査研究	1機関	大学	—	—	1機関	20,800	20,800	0	○	・4月27日付けで岐阜大学と寄附講座設置に係る連携協定を締結し、5月1日に鳥獣害対策研究部門を設置済み。 ・5年を目安として鳥獣害対策の科学的効果検証や人材育成に取り組む。
(9)里地における生態系保全事業	・ため池の生態系を回復する外来種駆除などの実施	25箇所	県	—	—	5箇所	2,500	0	2,500	○	・事業実施要望箇所の調査及び精査を行っている。
	・水田の生態系を回復する水田魚道の設置	5地区	県	—	—	1地区	3,000	3,000	0	○	・河川環境研究所等関係機関と打合せ済み。 ・本年度研修実施箇所(1箇所)について、現地機関と調整中。
	・里地の生態系を復活させるモデル的取り組みへの助成	延べ20地区	NPO 地域団体等	10/10	2,500千円/ 団体	4地区	10,200	0	10,200	○	・7団体より応募あり(5月18日締切)。 ・今後、選定委員会を経て実施団体を決定する。
	・里地の生態系保全に取り組む市町村への助成	延べ25市町村	市町村	1/2	1,000千円/ 市町村	5市町村	5,000	3,349	1,651	○	・1市町より申請あり(申請額:890千円)。 ・別途、3市町から申請予定の報告あり(申請予定額:2,459千円)。 ・9月末までの申請期限であり、順次予算の範囲内で採択する。
(10)河川魚道の機能回復事業	・地域協働を取り入れた魚道の適切な維持管理の実施	250箇所	県	—	—	50箇所	50,000	45,300	4,700	○	・魚道の機能点検業務について、遅くとも6月上旬には委託業者が決定し、秋までには業務が完了する。 ・点検結果を受けて、秋頃から土砂除去等を実施していく予定。

事業名	事業概要	5年間の事業量	平成24年度当初計画					H24. 5月末時点の事業進捗状況				
			事業主体	補助率	補助金限度額	計画事業量	①予算額 (千円)	②5月末時点 の配分判明額 (千円)	③残額 (①-②) (千円)	当初計画 達成見込	特記事項	
(11) 地域協働水質改善対策事業	・地域が協働して取り組む水質改善に対する支援・助成	1地域	県 地域水質改善協議会	—	—	1地域	2,000	0	2,000	○	・4月24日に各市町村へ照会(地域協議会を設置する市町村を募集) ・各振興局において、各応募案件について状況調査を実施し、採択事業を決定し市町村へ協議会設置を依頼(6月中)。	
(12) 上流域と下流域の交流事業	・上流域、下流域の環境を理解するツアーの実施	延べ75回	県	—	—	延べ15回	9,000	7,466	1,534	○	・受託業者と契約締結(5月9日付け)。 ・7月～11月に夏・秋合わせて17回のツアーを開催する。 ・6月中旬から、夏季ツアーの募集開始。	
(13) 木の香る快適な教育施設等整備事業	・教育福祉関連施設等の木造化、内装木質化の助成	65棟	市町村、学校法人、 社会福祉法人、医療法人 等	17千円/m2 10千円/m2	30,000千円 /施設	6棟	85,800	44,776	41,024	×	・当初要望案件6件のうち、内容審査の結果、採択事業は4件。 ・予算85,700千円に対し採択補助金額は44,776千円の見込み。 ・4月に2次募集を行ったがH24要望はなく、H25以降の要望が多い。 ・残予算(約4千万円)の対応について要検討。	
(14) ぎふの木で学校まるごと木製品導入事業	・学校の机、椅子の導入の助成	6,000セット	市町村、学校法人、 社会福祉法人 等	1/2	10千円/セット	900セット	9,000	8,148	852	○	・当初要望案件6件全て事業計画書提出予定。 ・6月中旬に交付内示完了予定。	
	・木製の学習教材の導入の助成	500セット		1/2	100千円/施設	100セット	5,000	2,486	2,514	○	・25件の応募あり(募集期間:4/10～5/18)。 ・応募のあった全事業に対し内示済み、うち5件が交付決定済み。 ・2次募集を予定。	
(15) 木質バイオマス利用施設導入促進事業	・木質バイオマス利用施設の導入の助成	ボイラー 10施設 ストーブ 500基	市町村 学校法人 等	1/2	2,500千円 /施設	ボイラー 1施設 ストーブ 191基	43,105	21,905	21,200	△	・申請予定者において、現在事業計画書を作成中。 ・現在、予算43,105千円に対し採択補助金額は21,905千円の見込み。 ・農林事務所担当者会議(4/18)で追加要望を依頼。	
	・未利用材の搬出の助成	20,000t	市町村	1/2	1.5千円/t	3,130t	4,245	2,270	1,975	△	・5月8日に1件内示済。他の申請予定者は、現在事業計画書を作成中。 ・現在、予算4,245千円に対し採択補助金額は2,270千円の見込み。 ・今後、2次募集を予定。	
(16) 清流の国ぎふ地域活動支援事業	・森、川づくり等環境保全活動に対する助成	100団体	法人 団体 等	10/10 1/2	500千円以下 500千円超える	20団体	12,000	12,000	0	○	・34件の応募があり、要望額は15,940千円(予算比136%)。 ・5月25日の庁内審査会で採択事業案(31件、14,957千円)を決定。 ・6月6日の評価委員会の意見照会を経て、県が採択事業を決定予定。	
(17) 森と木と水の環境教育推進事業	・森・川・海・里山に関する環境教育活動の実施	400校	県(小・中・高校、 保育所、幼稚園等)、 学校法人	—	—	80校	7,500	0	7,500	○	・103施設(幼稚・保育園、小・中、高校、特別支援校など)で実施決定。 ・5月末までに年間スケジュールに基づき、施設ごとの配分額を決定。 ・6月から配分に基づき、各農林事務所及び林政課で事業を執行。	
(18) 森から生まれる環境価値普及促進事業	・カーボン・オフセットの普及、J-V ERの販売促進	一式	県	—	—	一式	3,200	0	3,200	○	・4月13日にプロポーザル選定委員会を実施、契約相手方を選定。 ・契約審査会(5月1日)で承認を経て、5月2日に業務委託契約を締結。	
	・カーボン・オフセットを行う団体の支援	45団体	市町村 団体 等	1/2	200千円/事業	9団体	1,800	921	879	○	・5月18日の応募締切日時点で、応募5件(申請補助金額計 921千円)。 ・今後追加募集を実施予定。	
(19) エコツーリズム促進事業	・エコツーリズム連携会議の開催	5回	県	—	—	1回	500	0	500	○	・エコツーリズムに関する連携会議開催に向け、内容を調整中。	
	・エコツーリズムに取り組む団体の支援	15団体	市町村 団体 等	10/10	1,500千円/団体	3団体	4,500	4,500	0	○	・9団体から応募があり、要望額は10,754,100円(予算比240%)。 ・6月11日に庁内審査会で採択事業を決定し、応募団体へ通知するとともに、採択団体名および事業をウェブサイトで公表予定。	
(20) 清流の国ぎふ森林・環境税事業推進事業	・生物多様性に係る専門家の派遣事業	一式	県	—	—	一式	1,000	0	1,000	○	・派遣する事業の範囲について調整中。 ・専門家選定中。	
	・森林・環境税の広報PR、事業評価委員会の開催	一式、15回	県	—	—	一式、3回	1,500	150	1,350	○	・6月6日にH24第1回事業評価委員会を開催予定。 ・森林・環境税PR用のぼり旗を150枚作成(5月18日納品)。 ・事業実施場所でのぼり旗を掲出し、県民に対する税広報を実施。	
(21) 清流の国ぎふ市町村提案事業	・市町村が特に必要と考える事業	提案数による	市町村	10/10 1/2	1,000千円/事業 3,000千円/事業	提案数による	100,000	50,379	49,621	—	・63件の申請があり、申請額は58,218千円(予算比58%)。 ・5月22日の庁内審査会で採択事業案(54件、50,379千円)を決定。 ・6月6日の評価委員会の意見照会を経て、県が採択事業を決定。 ・残予算の対応について要検討。	
21事業						計	870,000	620,449	249,551			